

HAKUBA

# 議会だより

## 156号

3月定例会号

令和8年4月30日発行



Photo:みそら野から見た桜と白馬三山

■ 予算特別委員会	2～5
■ 総務社会委員会	6
■ 産業経済委員会	7
■ 新たな条例	8
■ 議決結果	9
■ 村政を問う 一般質問	10～18
■ トピックス	19
■ 夢・私たちに。「わたしのひとこと」	20



# (仮称)の建設に着手

## 行える複合施設

令和10年度内の開所を目指す

3月定例会

### 児童福祉、高齢者福祉の充実



- 自宅前乗降希望者の「ふれA1号」運行事業  
健康福祉課に移行
- 子育て支援施設建設事業 3億650万円
- 8年度生まれの赤ちゃんにアルプスPay 3万円分付与

1997年度以降最大規模  
前年度当初予算比2億3200万円増  
予算規模73億2200万円

### 農林業の振興と 有害鳥獣対策の 強化



- 農業機械導入支援・電動草刈り機等購入補助金 750万円
- 有害鳥獣被害防止対策事業「電気柵設置補助金」等 734万円
- 犬川用水小水力発電事業 8年度供用開始



令和8年度  
予算の  
キーワード

# 子育て支援施設 世代間交流が

## 移住定住施策の推進と コミュニティの活性化

- 稼ぐ事業と課題解決型事業を推進し  
官民連携の地域公社設立可能性事業 3千万円
- 学校給食費小学生無償化 中学生約4割補助



## 防災減災むらづくりと 気候変動対策

- 地域防災体制強化と中核的存在である消防団員の  
良好な活動環境整備および団員確保の支援
- 団員活動服追加購入 115万円
- 災害に強いまちづくり推進事業 1,841万円



## 持続性ある 観光地域づくりの推進

- 宿泊税6月徴収開始システム改修補助金 1,500万円
- 親海湿原遊歩道整備事業 594万円
- 鉱泉源保護管理整備補助金 2,500万円
- 八方池山荘官民連携事業再構築業務 1,144万円



## 総務課

**問** 地域公社プロジェクト可能性調査委託料3,000万円の内訳は。

**答** 既存組織の統合整理による削減効果や、地域の収益事業の調査・検証にかかる費用。

**問** 対象は振興公社と観光局か。

**答** 現段階は2機関を考えている。

**問** 地域通貨アルプスPayの展望は。

**答** 専用サイトは作成済。ポイント還元が可能となる機能を検討中。来年度はボランティア活動参加者へのポイント付与、他のアプリやシステムとの連携などを検討し、加盟店も増やしていきたい。

**問** 「ふれA1号」に二重価格の導入は。

**答** 地域通貨は二重価格などによる住民優遇が大きな目的の一つであり、事業者に理解・協力を得て二重価格の推奨で暮らしやすさを確保していきたい。

## 税務課

**問** 宿泊税徴収義務者への対処は。

**答** 課税は6月1日から。広報はくば3月号に掲載し、4月には説明会を開催する。オンラインでの配信、外国語の宿泊税の手引きも同時に作成・配布を予定。

## 住民課

**問** 窓口業務のデジタル化で、業務自体が効率化されているのか。

**答** 分野ごとでは技術の進歩と共に効率化できていると推察。

**問** 観光客の増加でゴミの排出量も増えていると思われるが、事業系のごみの分別や出し方はどうか。

**答** 地域やリサイクルセンターの方々の尽力もあり、実際に住民課に届くケースは限られている。リサイクルセンターの整備で、人の目を通してゴミが処分されているのでメリットは非常に大きい。

## 健康福祉課

**問** 児童福祉給付金の減額理由は。

**答** こども第3の居場所の利用者が増加し、放課後デイサービス利用者が減っているため。

## 建設課

**問** 道路台帳デジタル化事業で、住民が閲覧できるのはいつからか。

**答** 道路台帳は1年後を予定し、他は全体の進捗を見ながら公開する予定。

**問** 公開型GISシステムに、農業用水路をデータとして取り込むのはどうか。

**答** 農政課と検討したい。

**問** 持続可能なまちづくり形成事業は交付金事業か。

**答** 村の単独事業で有識者に委託する予算を計上していたが、事業の方向性が見えないため交付金事業として申請できなかった。

## 観光課

**問** 白馬村鉱泉源保護管理整備補助金の鉱泉源施設とは。

**答** 源泉ポンプ、抑揚ポンプ、貯蔵タンク等の温泉関連設備、並びに送水ポンプ、タンク、ボイラー、維持管理用車両など配湯関連設備を有する施設。

## 農政課

**問** 農業機械等導入補助金の農業認定者と一般農業者の違いは。

**答** 国の制度があり、白馬村の再生協議会で条件に合致した人が申請した場合、1期5年間認定農業者となる。農業所得を5年間で350万円の目標を達成する必要がある。

**問** 有害鳥獣対策事業に関連して、観光客に対しサル等にエサを与えない周知の強化は。

**答** 一度でもエサを与えてしまうと覚えてしまうため、引き続き広く浸透させていくために力を入れた広報の必要性を実感している。

## 会計室

**問** DX化による納付方法の変化は。

**答** 口座振替のほかに窓口納付やコンビニ収納、タブレット端末を使ったクレジット収納がある。

## 教育課

**問** 白馬高校支援の財源内訳は。

**答** 白馬山麓事務組合へ負担金を支出している。令和7年で国の交付金が終了したため、県からの一部負担がある。今後の財源は検討する必要がある。

**問** 資格検定料補助金は。

**答** 今回は合格者のみへの補助で、補助率は1/2。

**問** 小学校のスクールバスの中学生利用は。

**答** 基本的には小学校をベースに考えている。冬季の部活動によって神城の生徒は電車の待ち時間が1時間以上出てしまうのでバスで送迎。北城は落倉の生徒をバスで送迎、野平と嶺方の生徒は、冬季のみタクシーで行なっている。

## 子育て支援課

**問** 子育て支援施設は3か年の継続工事だが、工事費が上昇した場合は。

**答** 著しい人件費資材費等上昇の場合は、変更請負契約する。

**問** 保育士移住支援事業補助金の実績はゼロだが、拡充はできないのか。

**答** 県に対しての要望は引き続き行う。保育士の働き方改革を現在も進めていて、アプリの導入や、制作物や行事の見直し、保育士のリフレッシュ休暇等も試みている。

## 生涯学習スポーツ課

**問** 他自治体の図書館では、住民や子ども向けのイベントをよく開催しているが、村では。

**答** 図書館は人手不足が現状だが、DVD上映や読み聞かせ、自由研究に役立つ本の特集コーナーや村内イベントでのブース設置なども行っている。

**問** 文化財保護費に関して、グリーンスポーツにある歴史民俗資料館の宣伝は。

**答** 令和7年度から歴史民俗資料館を加えた文化財のスタンプラリーを企画している。

**問** 氷河調査に関する調査状況と結果の対応は。

**答** 白馬沢は、認定されれば報告会を予定している。観光面は観光課に繋げていく。

## 特別会計予算関係を認定

### 令和8年度 白馬村国民健康保険事業勘定特別会計予算

予算規模は10億5,140万円、前年度比8,300万円の減、国保税は2億9,690万円、県支出金6億3,890万7,000円、一般会計繰入金1億662万1,000円、歳出の保険給付費は6億3,346万3,000円を計上。

### 令和8年度 白馬村後期高齢者医療特別会計予算

予算規模は1億8,060万円、前年度比3,750万円の増、歳入の保険料は1億4,560万円、一般会計繰入金・保険基金安定繰入金併せて3,455万3,000円、歳出の広域連合負担金は1億7,524万3,000円を計上。

### 令和8年度 白馬村水道事業会計予算

水道事業収益は4億1,620万9,000円で、前年度比2,204万6,000円の増。

水道事業収益では、営業収益は昨年度比1,288万円減に対し、営業外収益で官民連携等基盤強化事業推進交付金、DX推進事業交付金などで国庫補助金4,039万円の増額。

物価高騰対応生活者支援事業では国の補助金を活用し5月6月分の水道基本料金2,400万円を減免。

### 令和8年度 白馬村下水道事業会計予算

下水道事業収益は5億449万7,000円。下水道事業費用は5億119万6,000円。

資本的収入は7億7,225万1,000円で下水道事業債及び国庫補助金の増額により、昨年度比3億669万8,000円の増。

資本的支出は8億2,260万6,000円で、昨年より2億8,697万4,000円の増額となっており、工事請負費でし尿等投入施設整備土木工事の3億9,903万円が主なもの。

# 給食費無償化へ

## 白馬村学校給食費徴収条例の一部を改正

### 主な議案の審査内容

議案第17号  
フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

議案の概要  
「一般職の職員の給与に関する条例」の規定に準拠したフルタイム会計年度任用職員の給料表の改正によるもの。

議案第18号  
パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

議案の概要  
パートタイム会計年度任用職員へ勤勉手当の支給、パートタイム会計年度任用職員のうち定額で支給する職種の報酬額を改正するもの。

議案第21号  
白馬村国民健康保険条例の一部を改正する条例

議案の概要  
国の制度改正により、国民健康保険税に子ども・子育て支援納付金制度が位置付けられたことに伴い条例の一部を改正するもの。

〔質疑・意見〕

問 国保税が高いという声もあるため、算出の仕組みを分かりやすく周知すべきではないか。

答 算出の仕組みは分かりにくいいため、今後ホームページ等で例を示しながら分かりやすく周知していきたい。

議案第24号

白馬村学校給食費徴収条例の一部を改正する条例

議案の概要  
食材費の高騰や国の政策、子育て世帯への村の支援策を踏まえ、学校給食の給食費を改訂するもの。

〔質疑・意見〕

問 給食日額に地産地消分として小学校10円、中学校20円の加算をしているということであるが、地元食材を給食でどのように使うのかは誰が決めているのか。

答 地元食材の使用は、栄養教諭が毎月の献立の中で決めている。教育課と給食センターでは、できるだけ地元食材を使っていくという方針である。ただし、白馬村ではどうしても季節が限られてしまうので、なかなか通年では使えないのが実情であり、年間で予算をプールして、使える時期に費用として充てている。

議案第28号  
令和7年度白馬村一般会計補正予算(第7号)

議案の概要  
歳入歳出それぞれ2億8078万3千円を減額し歳入歳出予算の総額を77億5528万2千円とするもの

〔税務課関係〕

賦課徴収事業は、GIS固定資産税地図情報システムによる国土調査事業の成果が令和7年中に法務局登記へ反映に至らず、委託料276万6千円の減額。

〔質疑・意見〕

問 ほ場整備の工区が法務局に反映されていないため減額となったが、来年度に更新する際は今回の減額分を計上するののか。

答 国土調査の成果量が多く、法務局で登記簿への反映が令和7年度中に完了しなかったため地図更新ができなかったものである。地図更新は毎年実施しており経費も単年度予算であるため、今回の減額分を繰り越して計上するものではない。

〔子育て支援課関係〕  
児童手当等給付事業は、基幹系システム標準化に伴う保育料納付書の仕様変更で用紙代を30万7千円増額。

〔住民課関係〕

福祉医療費給付事業は、受給者の医療費増加に伴い、子ども医療給付費300万円と障害者医療給付費150万円をそれぞれ増額。  
環境衛生事業の主なもの、落倉地区で発生した原因不明の油の自噴対応で74万7千円増額。



〔生涯学習スポーツ課関係〕

図書館事業は、図書館職員の勤務形態変更により15万8千円増額。図書館建設用地取得に伴う立木補償費45万9千円を増額。伝統的建造物群保存事業は、青鬼神社修理工事の内容見直しにより113万4千円の減額。

議案第29号

令和7年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第3号)

議案の概要  
歳入歳出それぞれ288万5千円を増額し、予算総額を11億4835万6千円とするもの。  
子ども・子育て支援金制度施行に向けたシステム改修を計上するもの。

議案第30号

令和7年度白馬村後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)

議案の概要  
歳入歳出それぞれ2234万6千円を増額し、予算総額を1億6671万6千円とするもの。  
保険料試算に伴う区分間の増減。子ども・子育て支援金制度対応のシステム改修や広域連合負担金の増額によるもの。

# 温泉資源の保護と安定供給の確保のため 鉱泉源振興基金条例の制定

議案第6号  
**白馬村農業用水小水力発電施設運営基金条例の制定**

**議案の概要**  
農業用水小水力発電施設の適切な管理運営を目的に、財源を確保するための基金を設置するためのもの。

議案第7号  
**白馬村農業用水小水力発電施設の設置及び管理に関する条例の制定**

**議案の概要**  
農業用水小水力発電施設の設置及び管理に  
関し、必要な条例を制定するもの。

〔質疑・意見〕

**問** 今後、新たに小水力発電施設が整備されれば、本条例の第3条に付け足す形になるのか。  
**答** 第3条の条文に追加していく形になる。

議案第9号

**白馬村鉱泉源振興基金条例の制定**

**議案の概要**  
温泉資源の保護と安定供給の確保、利用環境の整備等により、温泉資源の持続可能性を確保する目的から、鉱泉源の保護管理施設への整備に資する事業の財源を確保するための基金を設置するためのもの。

議案第28号

**令和7年度白馬村一般会計補正予算(第7号) 所管事項**

〔農政課関係〕

野平地区の災害復旧工事に伴う設計内容の変更と、ほ場整備事業の事業完了による精算で農地費3704万円減額。森林整備事業完了による精算で152万4千円の減額。令和6年の豪雨災害による、堀之内地区谷地川の頭首工事の変更増加に伴い過年発生農地農業用施設災害復旧事業に77万円増額。

〔観光課関係〕

12月より4台体制で運行する予定だったが、委託業者の運行許可申請の手続きが遅れたことにより、運行日数が減ったことと、昨年度の実績により3月の夜間運行をやめたことによりデマンドタクシー運行事業費を438万2千円減額。事業の精算による観光振興負担金を497万7千円減額。宿泊事業者のシステム改修事業に4349万3千円減額。

〔質疑・意見〕

**問** ナイトデマンドタクシーの早期運行終了は、観光課内の判断で決めたのか、また、運行会社との契約上の理由はあるのか。  
**答** 今年度の運行実績と例年イベント終了後に乗車数が急激に減るため、費用対効果を勘案したうえで、3月の運行を取りやめたものである。また、運行会社と調整をしたが、月途中の運行は、投資効果が見込めないということ  
で判断した。

〔建設課関係〕

駅前無電柱化に伴う地元負担金に526万5千円増額。地区への資材等の原材料費に100万円増額。

〔上下水道課関係〕

公共下水道事業は、白馬山麓事務組合派遣職員に係る人件費を下水道事業会計から振り替え155万円の減額。派遣職員の白馬村負担分に下水道事業会計補助金571万4千円減額。衛生費の負担金と合わせた白馬村負担分に白馬山麓事務組合等負担金416万4千円増額。

議案第31号  
**令和7年度白馬村水道事業会計補正予算(第3号)**

**議案の概要**  
収益的収入に727万1千円を増額し、収益的収入総額を4億155万4千円とし、収益的支出に346万円を増額し、収益的支出総額を3億2491万8千円とするもの。

収益的収入および支出の主な増額は、白馬村上下水道DX推進事業に係る国庫補助金の計上と令和6年度末新規登録分の有形固定資産減価償却費が主なもの。

議案第32号

**令和7年度白馬村下水道事業会計補正予算(第3号)**

**議案の概要**  
収益的収入に571万4千円を減額し、収益的収入総額を4億8590万3千円とし、収益的支出に37万2千円を増額し、収益的支出総額を4億7910万円とするもの。  
予算第4条本文括弧書の「不足する額1億1610万3千円」を「不足する額1億75万6千円」に改め、資本的収入を837万7千円増額し、資本的収入総額を4億4494万9千円とするもの。  
資本的収入の主な増額は、白馬山麓事務組合負担金人件費分によるもの。



← 審査結果の一覧は、9ページをご覧ください。

## 議案第8号

### 白馬村環境基本条例の制定

豊かな自然環境を将来へ継承するため、環境保全の基本理念及び村・事業者・村民の責務を明らかにするとともに、施策を総合的かつ計画的に推進し、ゼロカーボンシティの実現と持続可能な発展に寄与するため、条例を制定するもの。

#### 【質疑・意見】

**意見** 環境基本条例は前議会で否決された経緯があるが、見直しのうえ再提出されたものであり、現在は理念となる基本条例がない状況であることから、早期に制定されるべきである。

#### 【討論】

**反対** 気候非常事態宣言やゼロカーボンビジョンを前提とした内容であるが、気候状況の認識やCO<sub>2</sub>排出の考え方については別の視点も含め、内容を再度精査すべきと考え反対する。

**賛成** 本条例は村の環境や景観に関する理念を示すものであり、すでにある景観条例等の基礎となる理念条例は必要であると考え賛成する。

## 議案第11号

### 白馬村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

児童福祉法の一部改正により創設された乳児等通園支援事業について、条例を定めるもの。

#### 【質疑・意見】

**問** 待機児童が解消されなければ、「こども誰でも通園制度」の受入れはできないのか。

**答** 受入れができないわけではないが、村としてはまず保育園・認定こども園を希望する児童の受入れを優先し、施設に余裕がある場合に制度を開始する考えである。公立のしろうま保育園はその方針であり、民間施設も基準を満たせば対象となり得るが、現状ではすぐに制度を開始するのは難しいと考えている。

**問** 今のところこの制度に該当する児童の把握はできていない状況か。

**答** そのとおり。全国どこからでも使える制度で、利用者数も読めないのので、受け入れは現時点では難しいと考える。

# 新たな条例を制定しました

## 議案第10号

### 白馬村こどもの笑顔応援条例の制定

すべてのこどもが健やかに成長し、子育てをするすべての人が安心と誇りをもって暮らすことができる地域社会の実現を図るため、こども・子育て支援に関する基本理念及び各主体の責務等を定めた本条例を制定するもの。

#### 【質疑・意見】

**問** この条例名にした理由は。

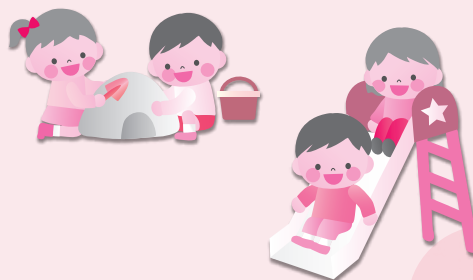
**答** 当初はよくある名称だったが、白馬村は子育て支援に力を入れているのでこの名称にした。



## 議案第12号

### 白馬村特定乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

子ども・子育て支援法において準用する規定に基づき、実施される特定乳児等通園支援事業について、給付事業としての適正な実施及び利用者保護を確保するため、設備及び運営に関する基準を条例で定めるもの。



# 第1回定例会 議決結果

議案番号	案 件	総務社会 委員会	産業経済 委員会	議決結果
報告第1号	損害賠償事件に係る損害賠償額の専決処分報告について	委員会付託なし		報告
議案第2号	令和7年度白馬村一般会計補正予算(第6号)			可決
議案第3号	工事変更請負契約の締結について			可決
議案第4号	白馬村白馬町交流センターの指定管理者の指定について	○	－	可決
議案第5号	白馬村飯田交流センターの指定管理者の指定について	－	○	可決
議案第6号	白馬村農業用水小水力発電施設運営基金条例の制定について	－	○	可決
議案第7号	白馬村農業用水小水力発電施設の設置及び管理に関する条例の制定について	－	○	可決
議案第8号	白馬村環境基本条例の制定について	○	－	可決 (反対:伊藤)
議案第9号	白馬村鉱泉源振興基金条例の制定について	－	○	可決
議案第10号	白馬村こどもの笑顔応援条例の制定について	○	－	可決
議案第11号	白馬村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	○	－	可決
議案第12号	白馬村特定乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	○	－	可決
議案第13号	白馬村認定こども園しろうま保育園担任手当に関する条例の制定について	○	－	可決
議案第14号	白馬村議会議員及び白馬村長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	可決
議案第15号	白馬村課設置条例の一部を改正する条例について	○	－	可決
議案第16号	白馬村特別職の職員で非常勤のもの報酬に関する条例の一部を改正する条例について	－	○	可決
議案第17号	フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	－	可決
議案第18号	パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	○	－	可決
議案第19号	職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例について	○	－	可決
議案第20号	白馬村税条例の一部を改正する条例について	○	－	可決
議案第21号	白馬村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	－	可決
議案第22号	白馬村地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化を図るための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例について	○	－	可決 (反対:鈴木)
議案第23号	白馬村使用料条例の一部を改正する条例について	○	－	可決
議案第24号	白馬村学校給食費徴収条例の一部を改正する条例について	○	－	可決
議案第25号	白馬村ジャンプ競技場条例の一部を改正する条例について	○	－	可決
議案第26号	白馬村ウイング21条例の一部を改正する条例について	○	－	可決
議案第27号	白馬村保育料条例の一部を改正する条例について	○	－	可決
議案第28号	令和7年度白馬村一般会計補正予算(第7号)	○	○	可決 (反対:伊藤)
議案第29号	令和7年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第3号)	○	－	可決
議案第30号	令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○	－	可決
議案第31号	令和7年度白馬村水道事業会計補正予算(第3号)	－	○	可決
議案第32号	令和7年度白馬村下水道事業会計補正予算(第3号)	－	○	可決
議案第33号	令和8年度白馬村一般会計予算	○	○	可決 (反対:伊藤)
議案第34号	令和8年度白馬村国民健康保険勘定特別会計予算	○	－	可決
議案第35号	令和8年度白馬村後期高齢者医療特別会計予算	○	－	可決
議案第36号	令和8年度白馬村水道事業会計予算	－	○	可決
議案第37号	令和8年度白馬村下水道事業会計予算	－	○	可決
議案第38号	工事変更請負契約の締結について	委員会付託なし		可決
同意第1号	白馬村教育委員会教育長の任命について			同意
同意第2号	白馬村固定資産評価審査委員会委員の選任について			同意

# 一般質問

## 安全で活力ある 村づくりをめざして 村政を問う

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、村長や教育長などの方針を問うものです。

議会だよりでは、紙面の都合上、質問者が要約して掲載しています。本会議はユーテレ白馬でご覧いただけます。

### 質問者一覧

#### 今後の農業用水の管理については

内川 史朗 ..... 11

#### 宿泊税の使途の決定は

丸山 和之 ..... 12

#### 繁忙期の避難対策は十分か

丸山 宏充 ..... 13

#### 公共インフラの維持と下支えについて

酒井 洋 ..... 14

#### 白馬村行政の発信力と情報管理は

永井 勝則 ..... 15

#### 庁舎管理と将来整備の考えは

太田 学 ..... 16

#### 当村の日本人の減少をどう考えるか

伊藤 まゆみ ..... 17

#### 宿泊税の使途管理を外部団体に委ねてよいか

鈴木 均 ..... 18

### フォトニュース



北ア横断トンネル構想（朝日・白馬ルート）実現を目指す朝日町議会との議員連絡協議会（4月8日）

# 問 今後の農業用水の管理 については

## 答 各地区で管理、集落支援員 制度の活用も検討



内川 史朗

### 【農業用水の管理について】

**問** 冬期間、水が流れていないところと流れていない所があるが、何故か。

**答** 水路の日常的な維持管理は、行政区や耕作者等関係者の皆様が協力して担ってもらうのが基本であり、それぞれの地域の実情や必要性に応じた運用がなされています。村では、集落支援員制度の活用を検討していきます。

**問** 田植えの時期に水不足なのも問題であるが、苗代の代掻時期に水不足になってしまうと雪中苗

量が変動します。また、白馬村を含む北アルプス地域は、古くからの水田単作地帯として農産物全体に対する米の生産割合が突出しています。米作という特定の農家のみを対象とした運用をおこなっているものはありません。

**問** 白馬町と深空の土地改良区については側溝が出来ているが、水下が土側溝であるため水の流れが悪く、詰まりやすい。その部分についても、U字溝の設置をしないのか。

**答** 北城南部圃場整備エリアでは、用排水路整備が進められています。一方で、エリア外には未整備の土側溝なども多く存在しているため、優先度を見極めながら段階的に対応を検討していきます。多面的機能支払交付金事業の検討とともに地区からの継続的な要望を踏まえ、必要に応じて材料支給等の支援も含め、対応していきたいと考えています。

**問** 冬季期間中に全く水が来なかったという経緯がある。これは、地区だけで対応するのは難しいと思うが、その部分についてはどうなのか。

**答** 非かんがい期となるため水量が決められてしまい、一番多い時と比較して3分の1程度になっってしまうこともあります。そのため、村としては決められた水量はしんせぎの取り入れ口から流すように配慮をしています。

**問** 冬季期間に雑排水から処理水が水路に流れ込んでいるため、水が濁り、臭気が出ている。水を流してもらえれば、それらが少しは緩和すると考えられるが。

**答** 該当の箇所については、当然下水道の区域内であるので、下水の加入に関しまして、広報、ダイレクトメール、直接通知文書を送付しています。

**答** 一般的に河川法に基づかんがい用水は、秋以降に非かんがい期となることから、取水量を減少させることになっています。そのため、時期により通水



春先に水の来ない堰

# 問 宿泊税の使途の決定は

**答** 関係条例に基づいて決定される枠組み



丸山 和之

## 【宿泊税について】

**問** 宿泊税の導入の経緯は。

**答** 既存財源のみでは観光振興に必要な財源を安定かつ継続的に確保することが困難な状況となったことから、平成30年5月に「白馬村観光振興のための財源確保検討委員会」設置検討を開始し、令和6年10月に同委員会から、法定外目的税である宿泊税の導入により、観光振興のための財源を確保すべきとの答申がなされ、検討した結果、

果や実績の検証、評価を審議して、村長へ答申します。その答申を受けた村は、宿泊税を積み立てた基金から予算を繰り入れて予算編成を行い、議会の承認を得ることや、活用した事業を取りまとめ公表して、関係条例に基づいて決定されるスキームとなっております。その透明性が担保されるものと認識しています。

令和7年3月定例会に条例案を提出し、議会において可決いただき、令和7年9月30日付で総務大臣の同意を得て正式に導入が決定しました。

**問** 制度を県に準ずる形とした理由は。

**答** 宿泊者と宿泊事業者にとつて分かりやすく、事務負担の少ない制度とする必要があることから、税額を定率制とする点や、課税免除などの制度設計について県に準ずる内容としました。

**問** 宿泊税の使途の決定はどのような形で決定されるのか、また、その透明性の確保は。

**答** 白馬村観光地経営会議において、使途管理団体からの事業計画や実績の報告を受けて、選定結

**問** 徴収に関する問題点は。

**答** 新たな事務負担が生ずることに加えて、システム改修費等の新たな経費負担が生じる点と素泊まり料金の明確な査定基準の整備、免税店及び課税免除の適切な運用、経営形態や経営主体を問わず、漏れのない賦課徴収の徹底の必要などの制度の適切な運用が挙げられます。

**問** 観光関連に有効な法定外目的税は宿泊税以外にどのようなものが考えられるのか。

**答** 観光関連の法定外目的税として、他自治

体の例でいうと、遊漁行為に課税する山梨県富士河口湖町の「遊漁税」、駐車行為に課税する岐阜県高山市の「乗鞍環境保全税」などがあり、本村も、国内外の事例も参考にしながら、法定外目的税に限らず、さまざまな種類の財源を検討しています。

**問** 今後、財政構造を見直していく考えはあるか。

**答** 財政構造の見直しについては、人口減少に伴う村税の減収や、社会保障費の増大などにより、

財政環境が極めて厳しい局面につながる懸念されるため重要であり、国からの地方交付税に過度に依存する構造から脱却し、自立した行政運営を行うために独自財源の確保と、聖域なき財政構造の見直しが必要であると認識しています。



Room Price (税別)	Rate
Less than ¥6,000	Exempt
¥6,000 to less than ¥20,000	¥200
¥20,000 to less than ¥50,000	¥400
¥50,000 to less than ¥100,000	¥900
¥100,000 and above	¥1,900

宿泊税のリーフレット

# 問 繁忙期の避難対応は十分か

**答** 避難所が不足した場合は  
宿泊施設で対応



丸山 宏充

【観光防災マニュアルについて】

**問** 行政の責務として「住民の生命と財産を守る」という観点から、住民と観光客の関係性をどう整理しているのか。

**答** 行政の第一の責務は、住民の生命と財産を守ることにあります。その上で、本村は観光地であり多くの観光客が訪れることから、災害時には観光客の安全確保も重要な課題となります。住民の安全確保を基本としつつ、宿泊施設や観光事業者と連携しながら

観光客への情報提供や避難誘導などを行い、地域全体として安全確保に取り組む考えです。

**問** 繁忙期には住民数を上回る観光客が滞在する。災害時の避難誘導や安否確認はどこまで想定されているのか。また、住民と観光客が同時に避難所を利用する場合の運営や備蓄物資の確保・配分はどのように考えているのか。

**答** 宿泊施設や観光事業者と連携し、観光客への情報提供や避難誘導を行うこととしています。避難所が不足する場合は宿泊施設などの活用も想定し、備蓄物資については住民分を基本に関係機関と連携して対応していきます。

**問** 宿泊施設における災害時の初動対応や情報伝達について、村として統一した対応方針やマニュアルはあるのか。

**答** 観光防災マニュアルにおいて基本的な対応方針を示しており、宿泊事業者と連携しながら情報伝達や避難誘導などの対応を行うこととしています。

**問** 災害時の多言語による情報発信について、防災無線やSNS、アプリなどを含め、村としてどのような体制を整えているのか。

**答** 防災無線やホームページ、SNSなどを活用し、必要に応じて多言語で情報発信を行う体制を整えています。また、関係機関や観光事業者と連携し、外国人観光客への情報提供に努めています。

**問** 現行のマニュアルを今後どのように見直し、実効性を高めていく考えか。

**答** 観光地として多くの来訪者がある本村の特性を踏まえ、関係機関や観光事業者と連携しながら、

必要に応じてマニュアルの見直しを行い、訓練や検証を通じて実効性の向上に努めていきます。

**問** 今後、防災課の新設や防災監の配置など体制強化を検討しているのか。

**答** 現在は総務課を中心に防災業務を行っていますが、今後の災害対応力の強化に向け、他自治体の事例なども参考にしながら、必要な体制について研究していきます。



行政HPから参照できる観光防災マニュアル



防災倉庫

# 問 公共インフラの維持と 下支えについて

## 答 課題に向き合い、持続可能な インフラを築く



酒井 洋

【社会経済の急速な変化に伴う公共インフラの維持について】

**問** 交通、医療、農業インフラにおけるそれぞれの課題と重点戦略については。

**答** 交通においては白馬村観光地経営ビジョンの基本戦略や白馬村地域公共交通計画に掲げる計画目標の実践により、本村における交通インフラの最適化を図っていききたいと考えます。

医療においては、広域的な救急医療体制の連携強化

**答** 白馬村公共施設等総合管理計画を策定し、村で保有する全ての公共施設及びインフラを対象に各施設の更新・統廃合・長寿命化などを計画的に推進するとともに、公共施設保有総量で15%を縮減する目標を掲げました。

**問** 公共インフラの維持管理について広域化によるスケールメリットを出す考えは。

**答** 北アルプス管内の自治体とも連携し、体制整備や効率の最適化に向けた連携協議を進めていくことが必要であると考えています。広域化を進める前提に立てば、北アルプス広域連合において、構成市町村の意見も集約しながら方向性を検討していくことになるうかと思っております。

**問** 公共インフラをデジタルで監視・最適化する発想で軽量化する取組は。

**答** 全ての公共施設の維持管理分野において、デジタル技術の活用余地が

あるものと認識しております。修繕履歴のデータベース化などを通じて従来の事後対応型から予防保全型の維持管理へ転換を図り、維持管理費の平準化や職員の業務負担軽減につなげてまいります。

公共施設全体の管理の在り方として村全体で統一的に検討していく必要があることから、今後、庁内各課が連携しながら検討を進めてまいりたいと考えております。

**問** 企業版ふるさと納税の活用やインフラ維持基金を創設する考えは。

**答** 企業版ふるさと納税につきましても、ご寄附いただく企業の意向を尊重することとしています。直ちに特定目的基金を創設する考えはございませんが、将来的な大規模更新需要の見通しや財政調整基金との関係について慎重に検証した上で、その必要性和有効性を見極めてまいります。



犬川用水電動ゲート完成 維持管理の軽減が図られる

# 問 白馬村行政の発信力と情報管理は

# 答 改善すべき点があると認識



永井 勝則

## 【広報誌について】

**問** 「広報はくば」の配布は継続するのか、また高齢者向けに文字を拡大しては。

**答** 過去のアンケート結果では、デジタルに馴染みのある層を含めても「広報はくば」を主な情報源とする回答が3割あり、行政情報の到達手段として不可欠なものだと考えられるので、配布は継続します。今後はすべてを網羅するのではなく、重要度にに応じてメリハリをつける紙面構成に見直しを進めます。

**問** 要点を少ない文字量で伝える「子どもニユー

ス」的な誌面にしてはどうか。要約にはAIを利用したらどうか。

**答** 全ての情報を伝えようとすると文字数が小さくなっていくというのが現状。AIについては、総務課担当職員を中心に勉強会を企画中です。

## 【行政Webサイトについて】

**問** 「白馬村行政サイト」の使いにくさやPDF多用、アクセスに関する問題は。

**答** 村サイトを主な情報源とする村民は13%と少なく、検索性の向上が重要だと考えます。PDFを多用する背景には、迅速性の確保とページの見た目の保持、膨大なデータ量の管理という3つの理由があります。しかし、スマートフォンで閲覧する高齢者にとってはPDFが負担になるの

は事実であり、今後は優先すべき情報と、見やすさや操作性、検索のしやすさを重視する情報とを区別するよう、運用方針を見直しします。要点や概要をテキスト文字で併記することで、PDFを開かなくても内容が把握できる環境にします。

**問** 訪問者の声を聞く方法として、個々のページについてのアンケートを個別に取れる方法があるが。

**答** 委託先に問い合わせてみます。もしできないということなら別の方法を検討します。

## 【公式YouTubeチャンネルについて】

**問** 「白馬村役場公式YouTube」チャンネルの今後の活用は。

**答** 現在の公式チャンネルには、運用の工夫や改善の余地があると認識しています。制作する動画はYouTube専用ではなく、「ユーテレ白馬12ch」の番組としても活用できる手法を考えます。

## 【丸山村長は発信力を上げるための武器になると思う。たとえば村長が電動自転車に乗って神社や城跡をめぐる「白馬さん

ぼ」、山奥にある砂防ダムを訪れる、冒険や山歩き要素満載の「砂防ダムツアー」企画はどうか。

**答** 村長 非常に興味深いアイデアです。PRは首長の仕事の1つであり、チャンネル炎上のリスクを十分回避した上で、自分の能力もそこで活かしていければと思います。

**問** 「情報管理について」意図しない報道を防ぐための職員教育や情報の管理体制は。

**答** 当然使えているものと認識していましたが、今一度初心に帰って周知を図っていきます。

白馬村行政の発信力について 資料

2025/2/18 永井勝則

媒体	特徴	白馬村の場合	名称	対象
広報誌	住民に広く伝えたい情報を掲載。WebサイトやLINEにアクセスできない人には、この紙媒体しかない。	行政情報を伝える重要な紙媒体	広報はくば	村民全般
Webサイト	デジタルでの情報発信の総本山。文字、画像、動画。PC、タブレット、スマホ	広報はくばと補完的。多くの情報が保持できる	白馬村行政サイト	村民全般 (世界中)
YouTube	全世界で25億(日本で7,000万)人が利用、あらゆる情報が検索で入手できる。動画	生活や防災に関する情報を発信	白馬村役場公式YouTube	村民全般 (世界中)
LINE	プッシュ型で通知。文字、図、写真	行政情報をこまめに発信	白馬村公式LINEアカウント	村民全般 (とむたち)
防災アプリ	地震や気象に関する防災情報を通知する	避難所検索、安否登録機能もあり	白馬村防災ナビ	村民、村への訪問者、(世界中)
防災行政無線	速報性、音声	防災行政情報を早く的確に伝える	防災行政無線	村民全般
Instagram	ビジュアル特化型(画像、文字、短い動画)	村の魅力を写真で訴求	Hakuba_vill 白馬村役場	村民全般 (世界中)
FaceBook	実名による信頼性の高さ、双方向的、文字、動画、画像	災害、防災、イベント、ふるさと納税の情報図書館の情報	白馬村役場 - Hakuba village 白馬村ふるさと納税 白馬村図書館	村民全般 (友達)
X(旧Twitter)	即時性、拡散力、文字、動画、画像	公共工事、通行止情報	白馬村役場建設課	村民全般 (世界中)
ケーブルテレビ	地域に密着した映像	村の話題や行政からのお知らせを放送	ユーテレ白馬12ch	村民全般 (契約者)

行政が発信する公式メディアと特徴(抜粋)

# 問 庁舎管理と将来整備の考えは

## 答 長寿命化し30年以上使用する方針



太田 学

### 【庁舎の長寿命化と整備方針】

**問** 庁舎の劣化状況について、コンクリートの劣化や構造体の診断は実施しているか。また結果の評価はどうか。

**答** 平成26年度に耐震診断を実施し、コンクリートの圧縮強度は設計基準を満たしていることを確認しています。中性化試験でも鉄筋への影響はないと判断しています。不同沈下や柱の傾斜も確認されませんでした。1階及び2階に耐震補強が必要という結

先順位を設定し、令和14年度までの改修内容と年度を整理し、計画的に更新を進めています。

**問** 建替えを行わない期間の管理方針はどうか考えるか。

**答** 安全性や防災機能の確保を最優先としていて、構造体やライフライン設備については優先的に点検・更新を行っていきます。また、受変電設備や外壁、防水など建物寿命に影響する部分については、予防保全の観点から計画的に改修を進めていく考えです。

**問** 庁舎整備方針の検討はどのような体制で行われているか。

**答** 総合管理計画に基づき、各課が個別施設計画を策定しています。計画の作成方法は施設ごとに異なり、職員による作成やコンサルタントへの委託など、それぞれの状況に応じて対応しています。

**問** 庁舎更新に備えた基金の考えはあるか。

**答** 現時点では特定目的基金は考えていませんが、公共施設全体に活用できる基金の在り方については、研究・検討の余地があると考えています。

**問** 独自財源として庁舎駐車場の有料化の検討はあるか。

**答** ゲート設置などの方法は考えられますが、来庁者の利便性や施設の共用状況もあり、これまで具体的な検討はしていません。今後は様々な視点から財源確保について検討していく必要があると考えています。

**問** 将来の庁舎像を議論する時期はいつ頃か。

**答** 具体的な建替えの議論については、財政見通しが立つ段階、概ね10年以内に入った時期が適切であると考えています。

**問** 第2期公共施設再編整備計画で庁舎が対象外となっている理由は何か。

**答** 総合管理計画では30年後も庁舎は1棟維持する前提としていて、統合や廃止は想定していません。

**問** 将来の庁舎像を議論する時期はいつ頃か。

**答** 具体的な建替えの議論については、財政見通しが立つ段階、概ね10年以内に入った時期が適切であると考えています。



役場の現状

# 問 当村の日本人の減少を どう考えるか

**答** これほどの数だと改めて  
数字として実感



伊藤 まゆみ

【人口減少について】

**問** 県は「長野県の年間人口増減数」を公表。

それによると2025年の当村の日本人の自然増減は▲82、社会増減数▲166で計▲248。この日本人の社会減を食い止める施策は第6次総合計画のどこに当たるのか。

**答** 定住人口の確保と移住、二地域居住の推進、定住のための住まいの確保で、具体的には、子育て世帯やエッセンシャルワーカー等への定住支援制度の創設、アルプスPay

を活用した村民割引制度の普及。移住に関する情報提供や相談対応。空き家バンク、さかさまバンクの運営。土地開発公社による宅地分譲や官民連携による住宅整備の検討等に取り組むこととしています。

2のニセコにはしない」という方針を示されていたと思うが、ニセコを教訓にどのような施策を施し、第6次総合計画にどう反映されているか。

**答** 白馬村景観条例及び白馬村開発行為の調整等に関する条例、開発指導要項ガイドラインを令和4年に制定し、令和5年から施行。各エリアの色彩や後退距離、高さ制限、環境保全、緑化等を定めています。また、白馬村太陽光発電施設の設定管理等に関する条例を制定し、村内のほぼ全域での野立てソーラーパネルの設置を禁止。第6次総合計画の中では景観育成と開発調整で、観光・暮らし・自然・景観のバランスを図りながら、条例に基づき適切な指導を行うことを記載しています。

**問** 北安曇郡の全人口の人口増減は▲482

で、その半分が白馬村。すごく減っていると思うがどう考えるか。

**答** 日本人だけの表を見て、はっと思いました。実際に、これほどの数字があるということに改めて数字として実感したというのが感想であります。

【第二のニセコについて】

**問** 以前村長はインバウンド急増と外資系開発が進む現状において、「第

2のニセコにはしない」という方針を示されていたと思うが、ニセコを教訓にどのような施策を施し、第6次総合計画にどう反映されているか。

**答** 白馬村景観条例及び白馬村開発行為の調整等に関する条例、開発指導要項ガイドラインを令和4年に制定し、令和5年から施行。各エリアの色彩や後退距離、高さ制限、環境保全、緑化等を定めています。また、白馬村太陽光発電施設の設定管理等に関する条例を制定し、村内のほぼ全域での野立てソーラーパネルの設置を禁止。第6次総合計画の中では景観育成と開発調整で、観光・暮らし・自然・景観のバランスを図りながら、条例に基づき適切な指導を行うことを記載しています。

**問** 現在、地元勢も潤っており、訪日客に対しては前向きに捉えているとの印象か。

**答** 地域が潤っているかの状況を図る指標として、

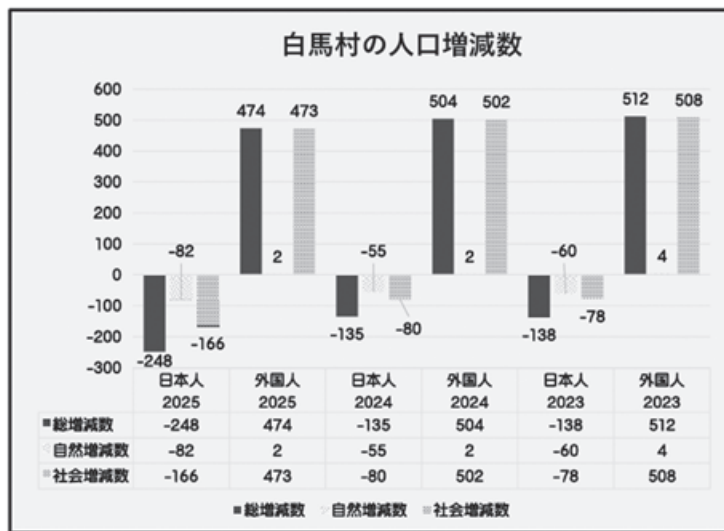
しては前向きに捉えているとの印象か。

現在、地元勢も潤っており、訪日客に対しては前向きに捉えているとの印象か。

地域が潤っているかの状況を図る指標として、

しては、村民総所得、法人村民税、雇用者数などが考えられ、村民総所得は2004年が約87億円、2019年が約94億円、2024年が約116億円と訪日客の増加とともに増加傾向。年間総入込客数が2007年は25万人、2019年は24万人とほぼ同水準ながら、外国人延べ宿泊者数はそれぞれ約4万人、約28万人と大きく増加。法人村民税で

も2007年が約8,200万円、2019年は約1億3000万円と大きく増加。以上の点から、訪日客の増加は経済的には一定のプラスの効果を読み取れます。村民が前向きに捉えているかの質問の主体が明確ではないため、その印象に対する答弁はしかねます。



白馬村の人口増減の表

# 問 宿泊税の使途管理を外部団体に委ねてよいか

## 答 具体的に定めるのは使途管理団体



鈴木 均

【宿泊税の管理と観光局のかかわりについて】

**問** 宿泊税収入見込みは。

**答** 8年度、1億4422万円。9年度は2億1100万円。8年度1億1280万円を基金に積み立てます。

**問** 宿泊税による事業計画は。

**答** 令和6年の提言書で、使途の基本方針として、「観光客の満足度を最大化させ、負の影響を最小化させる事業に使うことを前提」という視点から、今の

ない。委員会は観光課の内部に置くべきではないか。透明性は担保されるか。

**答** 委員会は、行政よりも観光施策として対応できるDMOに置き、透明性確保も検討段階です。

**問** 宿泊税を除雪や下水道などの観光基盤整備への活用は。

**答** 通常の生活インフラや行政サービスに宿泊税を充てることはできませんが、観光客受入れに不可欠な事業や、観光需要の負担、観光振興の目的と因果関係があればできると考えます。観光地エリアの除雪などはできるかもしれませんが、下水道などの基盤整備についても同様です。

**問** 「当面は行政が伴走する」とは。

**答** 観光課職員を、概ね3年程度、使途管理団体業務全般を補足しながら伴走する想定です。

**問** 提言書では、管理団体（観光局）に対して交付金を交付とあるが命令はない。

**答** 具体的に定めるのは使途管理団体で、再度観光地経営会議で報告承認し、村長に答申して、基金を繰り入れて議会の予算承認を得ます。

**問** 観光地経営会議が運営し、事務的な運用をするのが委員会だと思いが、逆立ちしていないか。

**答** 実際に使途をどうしていくかという委員会は、

観光局の中に置く。全部が村の中でということではなく、一般社団法人の中で決めることで村の例規には出てきません。

**問** 行政は外部団体の監査はできないが、チェックは可能か。

**答** （観光局内部の）監査の体制をしっかりと整えるようにはしたいと考えています。

使途条例に、どういう範囲に事業を充てるのか決められ、観光地経営会議で決まっており、経営ビジョンの中でその詳細が決まっています。どう交付するかはうたわれていません。

提言に、管理団体は予算を配当、事業の実施状況を管理するところが、作成作業はDMOで、観光地経営会議がそれを受けるといふ形か。

具体的に定めるのは使途管理団体で、再度観光地経営会議で報告承認し、村長に答申して、基金を繰り入れて議会の予算承認を得ます。

観光地経営会議が運営し、事務的な運用をするのが委員会だと思いが、逆立ちしていないか。

実際に使途をどうしていくかという委員会は、

実際に使途をどうしていくかという委員会は、



唐松岳を目指す登山者の列

## 河津町議会訪問

2月4日と5日の日程で、特別研修として姉妹都市である静岡県河津町議会を訪問しました。主に地域防災について意見交換を行いました。



## 南小学校入学式

●4月7日 南小学校入学式 22名の新1年生



## 信州あいさつ運動

●4月10日 小学校での信州あいさつ運動 (毎月11日に行われています)



## 建設安全祈願祭

●4月15日 し尿等投入施設建設安全祈願祭



### 議長交際費

令和7年度の議長交際費をHPで公表しています



### 議会活動報告

トピックスで紹介している他にも議会の活動報告をHPでお知らせしています。よろしければご覧ください。



スマホアプリで白馬議会だより配信中！



マチイロ

マチを好きになるアプリ



お気軽に！ご意見をお寄せください！

▶ gikai@vill.hakuba.lg.jp

85-0725(直通) 72-7001(ファックス)

# わたしのひとこと



## はくば通りに住む

八方口 加々見 康文

「今日、何曜日?」「お父さんに関係ないじゃん」と娘「雨降る?」「スマホ先生に聞いたら」これが日々の会話です。自由に時間を使えること、楽なようで難しい。何をするか自分の直感も大切、AIIには任せられない。

振りかえると、昭和44年、宿を開業してからは、あさ、目が覚めると何するか決まっていた。どんなに雪が積もろうと、丈夫な体に任せてひたすら体を動かすだけ。この間の出来事は、ほとんど良い思い出になりました。

“身を捨ててこそ浮かぶ瀬もあれ” 年を重ね老人の域に達し、この一文が自分の心にストーンと落ちます。

健康である限り出来そうな事「年寄り仕事レベルの地域貢献・ご近所&娘&孫と仲良く・校友会幹事・家の周りの美化・あいさつ」

そして、ふと思う。明日どうしよう?と。



## パラリンピックを観戦して

八方 太谷 陽平

ミラノ・コルティナ冬季パラリンピックを娘と観戦し、ハンディを感じさせない選手たちの全力のパフォーマンスに深い感動を覚えた。改めて、誰もがスポーツや自然の魅力を楽しめる環境づくりの大切さを感じさせるものであった。

現在、白馬村は多くの外国人旅行者を迎える国内有数のリゾートとなっている一方で、スキー場では索道をはじめとする各施設の老朽化が進み、更新の時期を迎えている。こうした改修の機会に、年齢・性別・国籍・障がいの有無にかかわらず、多くの方が利用しやすいユニバーサルデザインの考え方を取り入れた開発計画を検討してはどうか。小さな工夫やサポートにより、山岳リゾートの魅力はより多くの人に広がるはずである。多様な人が安心して訪れ、滞在を楽しめるリゾートづくりが進むことを期待したい。



## 白馬の自然と暮らし

八方口 久山 沙耶佳

白馬で生まれ育ち、日々の暮らしで感じる魅力は、雄大な自然とそれを守り続けてきた地域の繋がりで。何十年見ている景色でも、その美しさには常に心を動かされます。

現在、子育ての真っ只中ですが、この大自然の中で子供を育てる幸せを実感しています。世界中から人が訪れ、活気に沸く姿を誇らしく思う一方、冬場の渋滞や混雑など、住民の当たり前の暮らしに影響が出ていることに戸惑いも感じます。また、労働力不足による伝統行事や地域コミュニティの維持にも不安が募ります。

観光地の発展は重要ですが、並行して、ここで育つ若者が「また戻ってきたい」と思える持続可能な社会であってほしいと願います。住民の生活と観光が調和した、未来に希望の持てる村であり続けてほしいです。

## あとがき

ご愛読のほど、ありがとうございます。

今号よりレイアウトや書体、イラストなど、細部にわたって少し変化があることにお気づきになられた方もいらっしゃるかもしれません。社会が日々、変化をつづけるのと同じように、「議会だより」もよろしき方向を目指して変化をつづけていきます。

実は、上の「わたしのひとこと」欄にわたしが寄稿した17年前の議会だよりが手元があり、そこでは「晴耕雨読と犬の散歩の毎日を送っている」と書いています。今わたしは議会議員、確かに変化していました。(永井 勝則)

### 議会広報特別委員会

委員長	太田 学
副委員長	永井 勝則
委員	丸山 宏充
	鈴木 均
	酒井 洋
	内川 史朗
	丸山 和之
	太田 伸子



- 本会議場傍聴席への昇降機を設置しております。足が不自由な方でも傍聴可能です。
- 本会議はケーブルテレビでも視聴できます。

再生紙を使用しています。



白馬議会だよりは、環境にやさしい植物油型インキと再生紙を使用しました。(北辰印刷)